

議会報告

私の市政への一般質問

◎6月市議会が開催されました。
主な議決事項は次の通りです。

(1) 一般会計補正予算

市が委託している指定管理6事業について、その枠組みと補正予算を採択しました。期間は、平成25年度から平成30年度まで、債務負担行為の補正予算額は、合計18億434万円となります。

◎6委託事業

- 「宇刈いきいきセンター」
- 「市民体育館ほか10施設」
- 「袋井B&G海洋センターほか4施設」
- 「笠原老人福祉センターほか2施設」
- 「可睡寮」
- 「田原農村総合管理センター」

(2) 副市長定数条例の変更と新副市長の選任

任期満了に伴う副市長の選任で、副市長を2人制から1人制とし、吉岡伸夫氏が新しい副市長に決まりました。

市長退職手当の特例、人権擁護委員の推薦も可決されました。

(3) 議員提出議案

議員提出議案として特別委員会の設置、意見書2件を採択しました。

◎特別委員会

- 「議会改革特別委員会」
- 「地域医療特別委員会」
- 「防災対策特別委員会」

◎意見書

- 「南海トラフ巨大地震対策の推進と法整備」
- 「医療費助成制度における精神障害者の適用改善」

1 最低制限価格制度を設けた意味は

◆問：市は建設工事の入札に最低制限価格制度を採用したが、この制度を広げて行く考えはあるか。

◇答：この制度は著しい低価格受注による公正な取引秩序の阻害、下請け業者の保護、品質の確保、地域建設業の健全な発展を図るため導入した。設計や測量等への適用については、まずは低入札価格制度の実施に向け研究して行きたい。

視点：過当競争によるダンピング落札は、品質低下の恐れがあり、地元経済の疲弊を招く恐れがある。先進的な自治体では、価格一辺倒の入札から、品質や社会的価値を反映させる公契約制度を進めており、当市も広げていく必要がある。

2 国際交流協会に期待するものは

◆問：設立30年になる市国際交流協会も時代と共にその役割も変化している。市が協会に期待するものは何か。

◇答：国際交流を進める上で、海外都市との交流、市民の国際化、多文化共生の3つの柱が重要と考える。

視点：市内外の国際化の中で、国際交流協会に期待するものは大きい。協会の所在地を変更する案も浮上しており、市と協会は、接点をよく探りながら役割を果たして欲しい。

まちかどウォッチング

全力で！消防団査閲大会

袋井市各消防団の日頃の訓練の成果を発表する消防操法査閲大会が、今年も6月23日、市内広岡の精密工業団地内の駐車場を会場に開催されました。

当市の消防団は、袋井方面隊10分団、浅羽方面隊6分団の計16分団からなり、635人(4/1現在)の団員が火事や災害に備えて訓練を積んでいます。

地域の安全・安心にはなくてはならない消防団、団員の皆さんに敬意を表し、エールを送ります。



▲一致団結・全力疾走。ポンプ車操法の部の発表の様子。

市道・上久能鷺津線が開通

平成16年から進められていた市道・上久能鷺津線が完成し、4月12日開通式が行われました。この市道は、県道袋井春野線と久能可睡線を結ぶ道路で、聖隷袋井市民病院と袋井商業高校の間を通る延長382m、幅17mの道路です。総事業費：7億2626万円。

この道路の開通により、工業団地や可睡方面への交通が円滑になり、産業や観光振興への波及効果が期待されます。この道路は今後、病院への進入路と接道し、更に周辺への利活用がはかられることが期待されます。



▼市長はじめ地元や工事関係者などが出席して開通を祝う。

通学路の安全対策の状況

昨年4月の京都府亀岡市での痛ましい事故から、通学路の安全対策を求める声が相次ぎました。市ではこれを受け、袋井警察署や土木事務所などと連携して緊急点検を行ってきましたが、今回「緊急通学路安全対策案」としてまとめ、実施状況を発表しました。

今回の実施した安全対策は、市内142箇所、228件、道路標識の変更、看板設置などの応急対策を行っています。長期的な対策が必要な箇所は46箇所が上げられていますが、今後継続して根本的な解決を求めていく必要があります。



▲実施した応急処置のほかに長期的な対策も必要と指摘された鷺津地内の通学路。

